

がんばろう階上 がんばろう東北

広報
の

はしがみ 12

—ゆめ みらい 心ときめくふるさとづくり—



—特集—

いま、わたしたちに できること

(写真) 町総合防災訓練で救急処
置訓練を行う赤十字奉仕団員ら

主な話題

- 防災特集～いま、わたしたちにできること… 2
- 秋の褒章…………… 9
- 文化賞・スポーツ賞表彰式…………… 10
- 第1回階上町花壇コンクール…………… 22



町、消防団による避難広報とともに、避難の目印となる線路まで集まった大蛇地区住民

いざというときに備えて

総合防災訓練を実施

町は11月6日、23年度階上町総合防災訓練を大蛇小学校などで実施しました。

隔年で実施してはいますが、今年は東日本大震災を受け、昨年に続いての実施。震災の教訓を踏まえ、緊急時の行動などを確認しました。

役場、消防団、自主防災会、漁業協同組合などの関係機関、沿岸部住民、団体ら約500人が参加。訓練は、青森県東方沖を震源とするマグニチュード(M)8・0の強い地震が発生し、町は震度6強を観測、大津波警報が発令され、海岸地区に被害が多数発生したとの想定で行われました。

住民の避難誘導では、3月の津波の際にも合言葉となっていた「線路より上に逃げろ」の言葉どおり訓練のサイレンが鳴ると各家から住民が線路まで避難。また、関係機関の連絡体制を確認する災害対策本部設置訓練や自主防災組織による倒壊家屋からの救出、避難所開設などの訓練も行わ

れました。

参加者は、真剣な表情で訓練に取り組み、浜谷町長は「災害時は地域の力が頼りになる。訓練を忘れずいざというときに備えてほしい」と講評しました。

避難、救出、救急処置など13の項目について訓練を実施した。
1 自主防災組織による倒壊家屋からの救出訓練。ボール、のこぎりなどを使い救出にあたる
2 赤十字奉仕団員らによる炊き出し訓練。お湯を入れるだけでできるアルファ米などを提供
3 消防隊による救助訓練。海中に転落した人を救出



日ごろの備えが大切



階上町消防団
内城慶富 団長

東日本大震災では幸いにも人命に被害がなく本当によかった。災害時はまずは自分の身を一番に考えて。家庭でも災害時の連絡方法や非常時の備えなどについて話し合うようにしてほしい。



後世に残す

津波の碑を除幕―「忘れるな
あなたを守る 地域の絆」

東日本大震災による大津波の教訓と痕跡を後世に伝えようと大蛇小学校グラウンドに津波の碑が建てられ、除幕式が11月6日に行われました。

式には関係者のほか地域住民ら約300人が参加。浜谷町長は「今回の津波で沿岸部は大きな被害を受けたが、幸いにも人的被害が出なかったのは、地域の強い団結と絆のおかげ。過去の津波の恐ろしさと教訓を心に留めて生活し、次代に引き継いでいってほしい」とあいさつしました。続いて、被害の大きかった大

「ほら逃げろ 津波の時は 線路まで」
過去の津波経験から生まれた言葉。これが平成二十三年三月十一日の大津波から尊い人命を救った。死者、行方不明者なし。
住民を救った合言葉とともに、津波の様子や被害状況などが刻まれている

蛇、追越地区の住民や町、消防関係者ら10人が除幕をしました。

石碑は、津波が押し寄せてきた方向を向いて建てられ、『忘れるな あなたを守る 地域の絆』と刻まれており、尊い人命を救った教訓を後世に残したいという思いが込められています。

三陸沿岸部は昔から大きな津波に襲われ、江戸時代の藩日記などにも度々津波の記載が見られます。中でも明治29年、昭和8年に襲った三陸大津波は沿岸地域に大きな被害をもたらし、小舟渡、榊、大蛇に記念碑が建てられています。



町民文化祭で津波災害展

町歴史研究会と教育委員会による企画展『階上町の津波災害展』が、町民文化祭（10月29～30日）で行われました。

過去の津波の際に建てられた記念碑の碑文や当時の報道・写真などの資料、東日本大震災の被害状況などを展示。来場者は先人達が後世に伝えるメッセージにじっくりと見入っていました。

過去の津波の記録

1896(明治29)年 6月15日	明治三陸 大津波	死者21人、家屋流失1軒、全壊・半壊5軒、納屋流失12軒、漁船流失13隻など
1933(昭和8)年 3月3日	昭和三陸 大津波	死者2人、行方不明者1人、家屋流失10軒、納屋流失53軒、漁船流失99隻など
1960(昭和35)年 5月24日	チリ地震 津波	漁船、漁網など沿岸の被害甚大
1968(昭和43)年 5月16日	十勝沖地 震津波	漁網など沿岸の被害甚大

地域の防災力を高める

—自主防災組織—



総合防災訓練で避難所の設営を行う耳ヶ吠東行政区自主防災会

阪神・淡路大震災がきっかけ

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災は、数千人の死者発生と行政・経済機能停止という大被害をもたらした。これまでの防災観を大きく揺さぶりました。震災時、救出者の多くは近隣住民によるもので、行政がなし得た役割はごくわずかであり、防災のために最も機能したのは地域住民だったことが判明しています。この震災を機に、「自分たちの地域は自分たちで守る」という観点から全国で自主防災組織の結成が進みました。

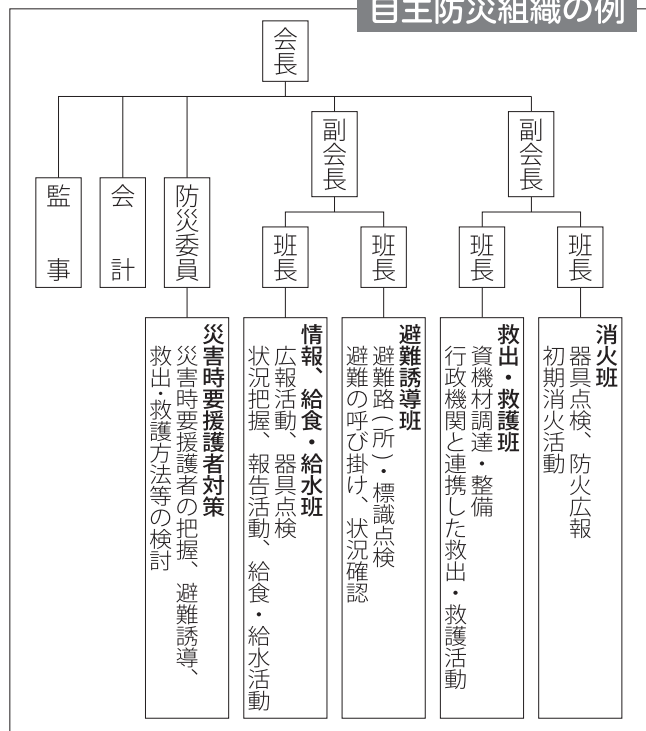
自分たちの地域は自分たちで守る

大規模な災害が発生したときは、国や県、自治体などの公的機関だけの対応（公助）だけでは限界があります。そのため、自分の身を自分の努

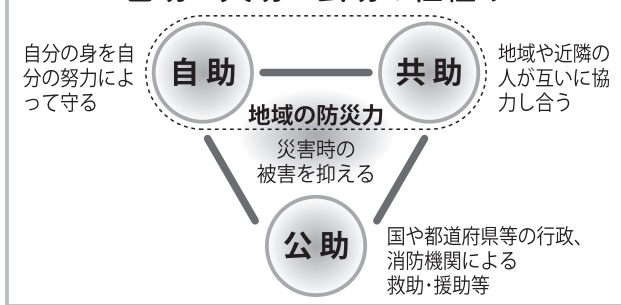
力によって守る（自助）とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が必要になってきます。

「自助」「共助」「公助」が有機的につながることで、被害の軽減を図ることができ、特に地域で協力し合う体制や活動（共助）は、自主防災組織が担うべき活動の中核となっています。

自主防災組織の例



自助・共助・公助の仕組み



自主防災組織の設立状況 (11月1日現在)

組織名	設立年月日	カバー世帯数
耳ヶ吠西行政区自主防災会	H20.11.27	462
平内地区自主防災会	H21.4.1	75
耳ヶ吠東行政区自主防災会	H21.4.1	569
大蛇行政区自主防災会	H21.4.1	156
野場中行政区自主防災会	H21.4.1	695
赤保内自主防災会	H21.4.1	321
榊行政区自主防災会	H21.6.10	202
金山沢行政区自主防災会	H22.3.28	180
田代地区自主防災会	H22.4.1	88
鳥屋部地区自主防災会	H22.4.1	140
階上駅前地区自主防災会	H22.4.1	285
小舟渡地域自主防災会	H22.4.1	293
石鉢行政区自主防災会	H22.4.5	614
角柄折地区自主防災会	H22.7.20	98
道仏地区自主防災会	H22.8.11	282
晴山沢地区自主防災会	H23.4.1	66
蒼前地区自主防災会	H23.4.1	956
追越地区自主防災会	H23.10.2	146
荒谷行政区自主防災会	H23.10.16	103

自主防災組織の役割

近年は地震や台風など自然災害の頻発により、地域における突発事態に際して、自主防災組織に期待される役割が大きくなっています。

日ごろから取り組むべき活動としては、火災の防止や消火訓練、避難訓練などがあげられ、大規模災害においては情報の収集・伝達、出火防止・初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護、避難生活に必要な活動など、被害を最小限に抑えるための活動が挙げられます。

実際に東日本大震災では、

小舟渡、大蛇地区などで、避難誘導の実施や要援護者宅を一軒一軒まわって安否を確認したり、避難所運営などが行われました。また、消防団、民生委員、ほのぼの交流協力員、赤十字奉仕団、婦人会らと連携をとり避難活動にあたりました。

後のアンケートでは、避難訓練を行っていたことで避難がスムーズに行われた、ガスやストーブなどの消火をし火災を予防したなど日ごろの訓練が役立つとしています。

一方で、停電に対する備えがなく活動が困難だった、電話などの情報伝達手段が断たれ関係機関との連携が難しかったなどの問題もあり、防災用資機材の整備や連絡体制の見直しなども課題に挙げられました。

自主防災組織日常の活動の一例

- 防災知識の広報・啓発
(地域防災・家庭内の安全対策)
- 地域の災害危険の把握
(防災マップ、ハザードマップなど)
- 防災訓練 (個別訓練、総合訓練)

カバー率100%

町では平成20年から行政区ごとに自主防災組織の設立がスタート。東日本大震災以降は、4月に晴山沢、蒼前行政区が設立、10月には津波で被災した荒谷、追越行政区にも発足し、町内の世帯カバー率100%を達成しました。人口1万人以上の自治体で全世帯をカバーしたのは県内で階上町が初。追越地区自主

防災会の中島孝一会長は「震災以降、組織の必要性を住民みんなが強く認識した。大きな災害になるほど、行政と地域の役割分担が必要になる」、荒谷行政区自主防災会の松森蒿会長は「学区が同じ追越、大蛇自主防災会との連携も深めながら、連合体としての活動も視野に入れた態勢づくりも検討したい」と話し、浜谷豊美町長は「これまで以上に住民の絆を深めながら地域を守ってほしい」と活動に期待を寄せていました。

町総務課では、「地域防災力の向上に向けた住民の活動は、様々なコミュニケーション活動の核にもなる。日ごろの訓練などを通して、一人ひとりの防災意識を高めながら、いざ



設立届を浜谷町長に手渡す、追越防災会の中島孝一会長(手前)と荒谷防災会の松森蒿会長

できる範囲で役割分担を



大蛇自主防災会会長
中田兼雄さん

大蛇自主防災会では、災害時に線路上まで誘導する人を避難路ごとにお願している。今回の震災で、大きな災害になるほど、部門ごとに責任者をおき、連携をとる体制が必要だと感じた。津波の恐ろしさがまだ身に染みているうちに、年に一度は訓練を実施したい。

町総務課では、「地域防災力の向上に向けた住民の活動は、様々なコミュニケーション活動の核にもなる。日ごろの訓練などを通して、一人ひとりの防災意識を高めながら、いざというときに機能できる組織づくりが大切」と自主防災組織の日ごろからの取り組みの大切さを訴えています。一人の力は小さくてもまともなれば大きな力に。支え合う関係づくりが地域の防災機能を高め、安心・安全な地域づくりにつながります。

命を守れるのは「あなた」です

大切な人の安否確認

災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音 171→1→ 自分の電話番号（市外局番から）
（□□□□）□□-□□□□

伝言の再生 171→2→ 相手の電話番号（市外局番から）
（□□□□）□□-□□□□

災害発生時、家族間や知人間などの安否の確認・連絡に活用できるサービスです。

※NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話から利用できます。（事前契約不要）

※録音された伝言は、被災地の人の電話番号を知っている人すべての人が聞くことができます。



避難勧告と避難指示

市町村は、災害による被害の発生が予想され、避難が必要と判断される際には**避難勧告**や**避難指示**を発令することになっています。

避難勧告	避難を促すもの。（強制するものではありません）
避難指示	避難勧告よりも緊急度が高い場合に出され、勧告より拘束力が強いもの。

勧告や指示が発令されたら、速やかに避難しましょう。また、自らの判断で早めに避難することも重要です。

準備していますか

非常用持出品の一例

貴重品

現金（10円があると公衆電話利用に便利）、預金通帳、印鑑、免許証、保険証など



タオル・下着など



非常食

火を通さなくても食べられるもの。缶切り、栓抜きも忘れずに



救急医薬品・常備薬

ばんそうこう、傷薬、胃腸薬、持病のある人は常備薬など



懐中電灯

1人に1つ。予備電池も用意



携帯ラジオ

AM、FM両方が聴けるもの。予備電池も用意



その他

ティッシュ、軍手、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品など



- 災害時3日間は自力で過ごせる装備を！
- リュックなどに入れて、すぐ取り出せる場所に保管！
- 定期的に点検し、保存状態や使用期限などをチェック！



前列左から内城慶富消防団長、中田兼雄大蛇自主防災会長、後列左から佐京実第1分団長、横道文男第6分団長

人命救助などに功績

沿岸部の分団ら青森県消防功労表彰受賞

東北地方太平洋沖地震の際、自らの危険を顧みず、積極果敢な救助活動を行ったとして、階上町消防団第1分団（小舟渡）、第4分団（駅前）、第6分団（大蛇）と、大蛇自主防災会が青森県消防功労表彰を受賞しました。10月28日に県庁知事室で表彰式が行われました。

各分団は、大津波警報発令後、避難誘導などの広報活動を繰り返し行うとともに、沿岸に近づこうとする人を高台などの安全な場所に避難させました。また、大蛇自主防災会は住民の避難、誘導、避難所運営などを行い津波来襲に備えるとともに、走行中の車や沿岸に降りようとする人を止めて避難させ、いずれも人的被害を出しませんでした。

また、当町のほか、八戸市、おいらせ町の消防分団が受賞しました。

あなたの大切な人やあなた自身の

ご利用ください

ほっとスルメール

町内の緊急・気象・火災情報などのメールを携帯電話やパソコンで受け取れます。

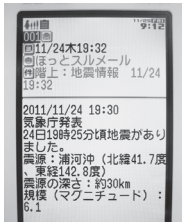
<登録用メールアドレス>

anzenjoho@anshin.city.hachinohe.aomori.jp

上記アドレスに空メールを送信し、登録手続きをして



ださい。(左のQRコードからも読み込めます)



受信イメージ

防災無線応答サービス

防災無線の放送内容を電話で確認できます。



電話番号 **80-1220**

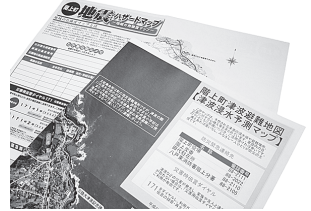
- ・携帯電話、公衆電話からも確認できます。(携帯電話の場合は市外局番0178を付けてかけてください)
- ・過去6回分まで確認できます。(ただし、時報のチャイムも含まれます)

【問】総務課 総務グループ ☎88-2112

地域を知る

津波ハザードマップ・地震ハザードマップ

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点などのほか、避難場所などの情報が掲載されています。



■津波ハザードマップ (沿岸部の世帯に配布済)

- ・浸水危険区域を表しています。
- ・町ホームページからも見ることができます。(トップページ→階上町の施策→階上町ハザードマップ)

【問】総務課 総務グループ ☎88-2112

■地震ハザードマップ (全世帯に配布済)

- ・地域の建物の危険度と揺れやすさを表しています。
- ・町ホームページからも見ることができます。(トップページ→情報公開→階上町耐震改修促進計画並びに地震ハザードマップ)

【問】建設課 土木建設グループ ☎88-2118

家庭内の目のつくところに掲示または常備し、自分の住む地域について家族で把握しておきましょう。

<NTTドコモエリアメールを配信>

町内に災害、避難情報が発令された場合、町内にいるNTTドコモの携帯電話を持つすべての人が受信できるサービスです。(一部非対応機種除く) 【問】総務課 ☎88-2112

階上町防災協力事業所の登録を募集しています

24年1月スタート

～事業所などの持つ組織力、専門的な技術・資機材は、災害時に地域にとって大きな力になります～

■防災協力事業所登録制度とは？

事業所などにできる範囲で地域の防災活動に協力いただき、災害時の被害軽減につなげていくための制度です。

対象となる事業所

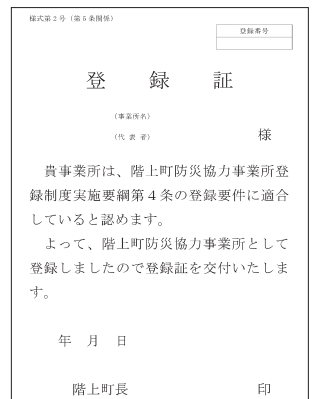
町内に店舗、工場を有する事業所または町内に活動拠点をおく団体などで、制度の趣旨に賛同し、自発的に登録を希望する事業所など。

登録方法

災害時に協力できる項目を選択し、登録申請書を提出してください。申し込みは随時受け付けています。申請書は町ホームページからもダウンロードできます。

公表

登録した事業所は、ホームページで公表するとともに、店頭などに掲示する登録証を交付します。



事業所のイメージアップにもつながります

詳しくは問い合わせてください。【申・問】総務課 総務グループ ☎88-2112

ドンコ汁求めて長蛇の列

階上どんこ祭り

階上売り込み隊（有谷升会長）は11月13日、階上どんこ祭りを開きました。東北新幹線全線開業効果活用支援事業を活用し、2回目の開催。

震災復興祈願と銘打った今年、会場の荒谷生産部会前に、朝から長蛇の列ができました。ドンコ汁は漁協婦人部が大鍋で豪快に調理。肝をたくさん入れてコクを出し、味噌であっさりとした味付けにしたというドンコ汁は、昼前に限定400杯がなくなるほどの盛況ぶりでした。



1 熱々のドンコ汁を求めて長い列ができた
2 豪快に調理する漁協婦人部
3 水槽からアワビを採り思わず笑顔の子ども

軽米町から夫婦で訪れた雪谷悦子さんは「沿岸部の人が少しでも元気になってもらえたらと思うて来た。シンプルでとってもおいしい」と味わっていました。

また、震災復興支援で、階上早生手打そば愛好会も協力。新そば300食を振る舞いました。会場では、アワビ採り体験やサケのさばき方実演、ドンコやイカの網焼き体験なども行なわれ、初冬のハマににぎわいが広がりました。

悲願の県大会初優勝！

階中男子バスケ部

階上中学校（菅井盛基校長）の男子バスケットボール部が青森県中学校秋季バスケットボール大会（11月5日～6日、主会場弘前市）で初優勝し、11月11日、部員17人と教職員が町を訪れ、町長に喜びの報告をしました。

決勝の弘前大学附属中戦では、後半でディフェンスを変えたことが功を奏し、前半の8点差をひっくり返して58対56で見事優勝を手に入れました。

キャプテンの千葉大輔君は「兄がいたときの県3位というこれまでの記録を超えることができてうれしい。試合では、先のこととは考えず、一戦を一戦懸命戦った。練習の成果が出せたと思う。次につなげていきたい」と話しました。

浜谷町長は「目標に向かって一歩ずつ進んでください」と激励していました。



喜びの報告をする階上中男子バスケ部

文部科学大臣表彰を受賞

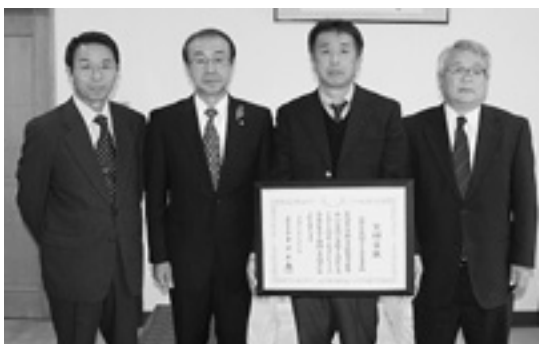
石鉢小地域子ども安全委員会

石鉢小学校地域子ども安全委員会が、文部科学省の「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞し、関係者らが11月11日、町に報告に訪れました。

同委員会は、平成16年に発足。17・18年度は県の子ども安全サポート推進モデル事業にも指定され、児童の交通安全なおよび不審者対策のために、保護者、地域ボランティアらが中心となり、登下校時の巡

回や防犯教室、安全マップの作成などを実施し、安全・安心なまちづくりに取り組んできました。

郷州満会長は「今までの活動が認められてうれしい。あいさつをする子どもが増えるなどの変化も見られた。今後、も継続していきたい」と語り、浜谷町長は「地域ぐるみの活動は非行防止にもつながる。活動を広げてほしい」と激励しました。



左から橋本芳弘校長、浜谷豊美町長、郷州満会長、加藤祐石鉢小後援会副会長

秋の褒章

平成23年秋の褒章で、統計調査員の
 畠守文雄さんが受章しました。

藍綬褒章 畠守 文雄さん (86歳・追越)

統計調査員として約40年に
 わたり、農林業センサスをは
 じめ、国勢調査など国や県な
 どが所管する多種多様な調査
 に従事しました。

調査環境が年々厳しさを増
 す中、熱心に調査に努め、正
 確かつ迅速に調査業務を行っ
 てきました。また、卓越した
 調査技術で後進の指導・育成
 にも尽力するなど、統計事業
 の推進にも大きく寄与しまし
 ました。



藍綬褒章を受章した畠守文雄さん。
 伝達式では90歳を超えた受章者もあり「まだまだ自分は若い方も。健康に気をつけながら、できる限り続けていきたい」と話していました

畠守さんは「まさか自分が
 受章するとは思っていません
 かった。受章は一生の宝物で
 す。家族をはじめ、役場や仲
 間のおかげでこれまで長い間
 続けることができ、いろいろ
 な経験を積むことができた。

1枚でも多く調査ができるよ
 うにと、何度も粘り強く調査
 対象の家を訪問して信頼関係
 を作れたことがよかったです」と
 これまでの調査をふり返りな
 がら喜びを語っていました。

全国体育指導委員功労者表彰受賞

谷川保博さん

町体育指導委員協議会会長
 の谷川保博さん(63歳・金山
 沢)が、全国体育指導委員功
 労者表彰を受賞しました。町
 初の受賞。

谷川さんは昭和62年に階上
 町体育指導委員に任命されて
 以来24年間、各種スポーツの
 指導や助言を行い、地域ス
 ポーツの振興に貢献。平成3
 年からは町体育指導委員協
 議会、18年からは三八地区や
 県の役員も務め、町はもとよ

り県内の体育行政に長年携
 わっています。

11月10日、東京都で開かれ
 た全国スポーツ推進委員研究
 協議会で表彰された

谷川さんは「同じ委
 員をはじめ、いい仲
 間に恵まれて長い間
 活動できた。みんな
 に感謝したい。今後
 は子どもから高齢者
 まで気軽に楽しめる
 スポーツの場を設け



表彰状を手にする谷川さん

「られたら」と抱負を語って
 ました。

※23年9月、法改正に伴い、
 体育指導委員からスポーツ
 推進委員に名称が変更

修学旅行で販売体験

道中生が復興を応援

道仏中学校(田村雅樹校長)
 の3学年45人が10月31日、ふ
 るさとの復興を目指そうと、
 修学旅行先の横浜赤レンガ倉
 庫で県産品の販売と募金活動
 を行いました。同校初の取り
 組み。

生徒は4班に分かれて販
 売、呼び込み、会計、募金な
 どを交代で行い、町特産のい
 ちご煮をはじめ、約20品目の
 県産品を販売。体験を通して、
 自ら進んで取り組むきつかけ

づくりにもなることも目的とし
 ており、約2時間、積極的に
 売り込みました。販売実行委
 員長の中田潮里さんは、「不
 安もあつたけど、大きな声で
 呼びかけるようにした。少し
 でも復興の役にたてれば」と
 話していました。

また、赤レンガ倉庫前では
 同校校歌などを合唱し歌声を
 披露。集めた募金と収益金は
 町と日本赤十字社に寄付する
 ことにしています。



法被を着て売り込みをする生徒



文化賞・スポーツ賞表彰式

文化賞・スポーツ賞 受賞者 (敬称略)

文化功労賞

小沢 勝司 (文化振興)
黒川 昭二 (文化振興)
阿部 栄子 (文化振興)
有谷 升 (文化振興)

文化賞

橋場さつき (美術)

文化奨励賞

岩崎かなみ (文学)
日向はるか (文学)
沼沢 茉唯 (文学)

スポーツ功労賞

新沼館雄磨 (自転車競技)
高森 和也 (ウエイトリフティング)

スポーツ奨励賞

(陸上)
権代純・和田歩・古里春花・袖平美花
浜道瑞紀・宮川夕奈・釜谷梢・小松恭介
坂田航希・佐藤翔太・西山万絢・江刺家実咲
(ソフトテニス)
鹿糠友冴・江刺拓也・梶谷周・東野大樹
笹山卓真・蔦木省吾・小野雄太・中村魁成
(サッカー) 中村龍生
(新体操)
濱谷航至・下長根祐貴・下野海人・榊慎生稔
(器械体操) 熊野美里

23年度文化賞・スポーツ賞表彰式が10月29日、ハートフルプラザ・はしかみで行われました。

今年は、文化賞・スポーツ賞合わせて36人が受賞。受賞者に川浪孝雄教育長より表彰状のほか、文化賞にブロンズ像、スポーツ賞にメダルが手渡されました。おめでとうございます。

日ごろの学習成果を披露

第33回階上町民文化祭が10月29日と30日の2日間、ハートフルプラザ・はしかみを主会場に開かれました。

幼児、小中学生、町内グループなどの作品展示やステージ発表など日ごろの学習の成果が披露されました。そのほか、そば打ち体験や各種バザー、郷土かるた大会など多彩な催しが行われ、来場者は思い思いに会場を巡っていました。

また、今年は東日本大震災があったことから、過去の津波の記録などを展示した津波災害展も開催。貴重な資料にじっくりと見入っていました。

- 1 町内で活動しているグループなどが日ごろの練習の成果を披露した音楽・芸能発表会。会場からは大きな拍手が送られた
- 2 絵画、書道、工作、陶芸、手芸、俳句など素晴らしい作品の数々に足を止めてじっくりと見入る来場者
- 3 階上早生PRコーナーでそば打ち体験をする来場者

町民文化祭にぎわう

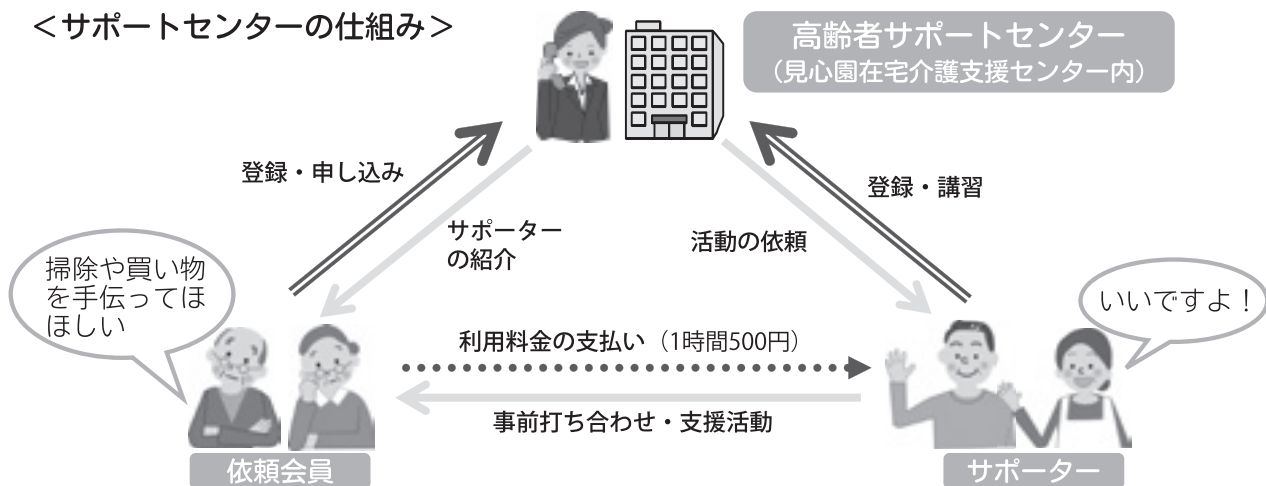


高齢者サポートセンター をご利用ください

高齢者サポートセンターは、支援を受けたい人（依頼会員）と生活介護支援サポーター（サポーター）がネットワークを作り、住み慣れた町で安心して暮らせることを目的に運営されています。

町から委託を受けた見心園在宅介護支援センターが連絡・調整を行い、支援を受けたい人の相談・会員登録を随時受け付けています。お気軽に相談してください。

＜サポートセンターの仕組み＞



入会資格	【依頼会員】 町内在住の65歳以上で支援を必要とする人 【サポーター】 養成研修を修了した生活介護支援サポーター
支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、薬局への同行 ・家事援助（掃除、調理、買い物など） ・住宅、庭の維持管理 ・その他依頼会員に対して必要な支援
料金	1時間 500円

【申・問】
保健福祉課 福祉グループ ☎88-2115
高齢者サポートセンター
(見心園在宅介護支援センター内)
☎88-3355

高齢者の一人暮らしでも安心

緊急通報装置を設置しませんか

■緊急通報装置とは

緊急の病気、ケガなどをした場合や相談があるときに、ボタンひとつで青森県社会福祉協議会や階上町社会福祉協議会につながります。必要に応じて近隣の協力員が自宅を訪問したり、救急車などの手配をしたりします。(右図参照)

■設置対象 65歳上で一人暮らしの人

■申し込み方法

設置を希望する人は、保健福祉課に 1月13日(金)までに 申請してください。

*今年度設置予定数は5台です。

*世帯の課税状況により、機器設置費の一部または全額を町で負担します。

*健康状態や生活状況などから設置の可否を判断します。

【申・問】保健福祉課 福祉グループ ☎88-2115

【緊急通報システム】



除雪作業にご理解ご協力を！



町では、冬期間の交通確保のため、12月から3月まで除雪を行います。

除雪がスムーズに行われるよう、次の事に注意し、除雪作業にご理解とご協力をお願いします。

ご協力をお願いします

- 路上駐車は絶対にしないでください。
- 除雪車の30m以内に近寄らないでください。
- 道路に雪を捨てないでください。
- 車を運行できない場合は赤旗を！
自動車などが故障し、運行できなくなった場合は、目印に赤旗を立ててください。
- 障害物には目印を！
浸透枘などの障害物がある場合は、目印となるポールなどを立ててください。
- 除雪後の各戸出入口は各自で除雪をお願いします。



—地権者の皆さまへ—

- * 積雪により幹や枝が折れ、除雪や通行の妨げになることが増えています。道路にはみ出た幹や枝の伐採に地権者のご協力をお願いします。
- * 緊急時は承諾なしで処理する場合がありますので、地権者各位のご理解をお願いします。

■各地区の除雪担当業者等

＜除雪情報は各地区の区長まで連絡してください＞

行政区名	行政委員(区長)	担当業者	行政区名	行政委員(区長)	担当業者
小舟渡	濱浦 清志	(有)佐京海事興業	赤保内	鹿糠 稔	(有)坂建設工業
駅前	寅谷 正美	沼 建設			(株)山道建設
榊	日向登美男	沼 建設	野場中	上重 一男	(有)坂建設工業、(株)横町建材
大蛇	中田 兼雄	葛巻建設(有)			新沼館建設運輸
追越	中島 孝一	葛巻建設(有)			(有)森工務店
荒谷	境 鉄男	木村建設、葛巻建設(有) (有)角地住設	蒼前	一戸 重明	新沼館建設運輸 (株)北日本サービス (有)森工務店、中島建設
道仏	坂 博史	木村建設、(有)木村工務店 (株)山道建設	石鉢	神成 信俊	(株)横町建材、下平建設(有) (有)森工務店
耳ヶ吠東	西田 和雄	(有)角地住設、荒谷電気 (株)北日本サービス (有)白座建設	鳥屋部	小沢 勝	房間建設
			角柄折	松川 純悦	(株)松川建設
			金山沢	松倉 長一	(株)松川建設、(株)横町建材
耳ヶ吠西	吉田 春泰	(有)角地住設、(有)白座建設 (有)坂建設工業	平内	鳩 文男	大前建設
			晴山沢	小出 光一	長根建設(株)
			田代	高橋 一郎	(株)北日本サービス

【問】建設課 土木建設グループ ☎88-2118

子どもたちの教育に役立てて 青銀従業員組合が図書寄贈

青森銀行従業員組合（櫻田芳規執行委員長）が町に学校用図書92冊を寄付しました。地域に感謝の心を届ける「ありがとう運動」の一環で寄贈したもので、組合員による募金を実施し、同町に贈られました。

11月9日、組合員ら4人が町を訪れ、金澤執行副委員長（写真右）から浜谷町長に目録が渡されました。浜谷町長は「学校だけでなく地域の皆さんにも活用させていただきます」とお礼を述べました。図書は沿岸部の道仏、大蛇、小舟渡小学校に設置され活用されます。



楽しいがいっぱい！ 活動内容がさらに充実！

就園していないお子さんが対象です。気軽に参加して、親子で楽しみませんか。

<1月スケジュール>

地域子育て支援センター「おひさまるーむ」

期日	活動内容
1/4 (水)	ビリビリ・チョコチョコキ 作って遊ぼう：パクパクししまい
1/11 (水)	福笑いをして遊びましょう 作って遊ぼう：紙ずもう 場所：石鉢ふれあい交流館
1/18 (水)	風船はねつきゲーム 作って遊ぼう：万華鏡
1/20 (金)	<子育て講座>「言葉が育つとき」 場所：ハートフルプラザ ※要予約 ☎88-3621 (1/13締切)
1/25 (水)	わらべうたを聞こう 作って遊ぼう：くるくるごま

[場 所] 石鉢保育園 [時間] 10:00～12:00
[利用料] 子ども1人につき100円
*保育園第1、第2駐車場をご利用ください

※12月の日程は広報11号に掲載しています。

子育てサークル「にこにこクラブ」

期日	活動内容
	1月はお休みです

第3回わいわい子育て広場を開催

11月18日、親子6組が参加。講師に淡路明美氏を招き、お母さんたちはスクラップブック作りを体験。子どもの写真をかわいい台紙に張り付け、思い思いに作品を完成させました。



【問】

保健福祉課 健康増進グループ ☎88-2219
石鉢保育園（地域子育て支援センター） ☎88-3621

乳がん・子宮頸がん検診 無料クーポン券の有効期限が 迫っています

有効期限は12月末まで！
お早めに申し込み、
受診してください！

6月に対象者に送付▶
した無料クーポン



	八戸市総合健診センター	八戸市内婦人科
受診できる項目	乳がんおよび子宮がん検診	子宮がん検診のみ
申し込み方法	要予約 ☎45-9131	各医療機関に直接申し込みください

※クーポン送付対象者は広報6月号10ページをご覧ください。

2年に一度は検診を！

【問】保健福祉課 健康増進グループ ☎88-2162

子育てサロンを 開設しています

就園前の親子を対象に
開催しています。お気軽
にご参加ください。



■1月開設日 (10:00～12:00)

はまゆり保育園 ☎88-2101

・1/11(水) 体操教室を体験しよう！

階上保育園 ☎89-2302

・1/19(木) 講座「東日本大震災と防災について」
※11:30～12:30

道仏保育園 ☎89-2210

・1/11(水) 正月遊び～凧を作って飛ばして遊ぼう～
※9:30～

※日程が変更になることもあります。
詳しいことは各保育園に問い合わせてください。

こんにちは！町長室です ⑳

階上町長 浜谷豊美



6次産業で人と自然が輝くまちづくり

〈県町村会研修より〉広島県世羅町の取り組みに学ぶ

広島県の中東部に位置する世羅町は、平成16年に3町が合併し人口約1万8千人、面積278・29平方キロ。農家は2826戸（1戸当たり129・1㌥）で果樹を中心に水稲、野菜、花き、畜産などを生産。近年は、観光農業も展開し、産直市場も急速に成長しています。

農業を基幹産業とする世羅町では、経営が安定しない、



特産のナシを使い、駅伝で有名な世羅高校と共同開発したランニングウォーター

高齡化・担い手の減少、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えており、それを打開する大きな農業振興の柱として、農業の6次産業化に取り組んでいます。個々の農業者・団体がネットワークを結び、連携・補完しあう広域的な取り組みが大きな特徴で、「6次産業推進協議会」を設立し、消費者の意識調査とビジョンづくりなど、地域全体が豊かでゆとりと夢のあるひとつの農村公園となるような取り組みを推進しています。

山口町長は「世羅台地の法則（自然条件）に沿った農業と共同経営の成功が今日につながっている」と強調され、当町の「わっせ交流センター」はじめ地域活性化に重ね合わせると大変興味深い事例でした。

図書室だより

図書管理システム導入に伴い 図書の貸し出し業務を休止します

図書管理システムの導入に伴い（24年4月より本稼働予定）、蔵書の整理および登録作業のため、下記期間中は、貸し出し業務を休止させていただきます。

利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

なお、現在利用中の図書は、下記返却期限までに返却してください。



ご利用の図書室が休みの場合は、他施設の図書室をご利用ください。

◇図書管理システムについて、詳しくは広報1月号でお知らせします。

■貸し出し休止期間など

施設名 (貸し出し時間)	貸し出し休止期間	利用中の 図書返却期限
道仏公民館 9～17時（月～金）、土曜は15時まで	12月16日(金) ～24年1月31日(火)	12月15日(木)
ハートフルプラザ・はしかみ 9～19時（月～土、日・祝日）	12月16日(金) ～24年2月29日(水)	12月15日(木)
石鉢ふれあい交流館 9～19時（火～土、日・祝日）	24年2月16日(木) ～3月14日(水)	24年2月15日(水)

(広告)

(広告)

からこの森

在宅介護・入所相談等
介護に関するお悩みお受けいたします

〒039-1212
青森県三戸郡階上町蒼前西2丁目9-988
Tel. 0178-88-2595
Fax. 0178-88-2596

12月26日 月

町 県 民 税 第4期
国民健康保険税 第5期
介護保険料 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

の納期限です。忘れずに納めましょう。

【問】町民課税務グループ ☎88-2114



お久しぶりです 11

～ふるさとへのメッセージ～

昭和52年、潜水専門の高校を卒業後に上京し、現在勤務しております「アジア海洋株式会社」へ入社、道仏中学校を卒業する時に心に決めた、潜水という職業に就き、早35年の歳月が経ちました。入社当時は会社創立7年目で、まだ不安定な状況でしたが、その後潜水の最先端技術等を、海外から取り入れながら発展し、今年2月で創立40周年の節目を迎える事ができました。弊社は潜水という職業柄、「南部もぐり」を輩出する地域（階上町、洋野町、八戸市、久慈市）出身者が多数入社しており、南部地域の潜水士の優秀さを日本国内は勿論、海外の海においても広めております。

そんな中、昨年11月に「ふるさとはしかみ会」が発足する事を、中学時代の同級生である濱谷博通（現事務局長）さんから聞き、会員になった次第です。総会に出席した際に、こんな近くに階上町の出身者が多数在住していることに驚きました。また、同席しました皆さんの中には、子供の頃に良く知った方々があり、遠い記憶をたどりながら昔のことを思い起こした次第です。短い時間ではありましたが、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。

また、私の唯一の趣味はゴルフですが、そのゴルフを通じて「ふるさとはしかみ会」で出会いました方々と楽しくプレーする機会が増えたことに感謝しております。

今後は微力ではありますが、階上町そして「ふるさとはしかみ会」発展のために、本会を紹介しながら宣伝していきたいと思っております。

ふるさとを遠く離れ、首都圏などで頑張っている方を紹介していきます



いわや たかお
岩谷 多加夫さん（53歳）

千葉県千葉市在住（道仏出身）
ふるさとはしかみ会会員

（写真）国内では弊社だけが所有している飽和潜水設備（水深200m対応）の前で。東北方面では階上町、六ヶ所村、久慈市に出先があります。

◇「ふるさとはしかみ会」会員募集中◇
町出身者、ゆかりのある方、階上町を故郷とおもう方ならどなたでも入会できます。活動内容はホームページをご覧ください。

<http://www.hashikami.info/>
【問】総務課 総務グループ ☎88-2112

ふるさとを思い親睦を深める

ふるさとはしかみ会 設立1周年・第2回会員交流会を開催

昨年11月20日に発足したふるさとはしかみ会（内城美名生会長）が設立1周年を迎え、11月19日に都内で第2回会員交流会を開催しました。会員ら約90人が参加。

定期総会ではこれまでの活動を報告、内城美名生会長が「町の発展、ふるさとの発展のために、できることをやってみましょう」とあいさつしました。また、テレビでお馴染みのオスマン・サンコン氏が基調講演を行いました。

懇親会では、久しぶりに会った同郷同士、思い出話や近況報告などに話を咲かせていました。また会員でもある元関取の十文字友和さんやアコースティックデュオの「びいだま」の2人（古屋敷裕大さん、上山友己さん）も駆け付け、会場を盛り上げました。

1 総会の様子 2 あいさつをする内城美名生会長 3 交流会で懇親を深める会員



予防接種
高齢者肺炎球菌ワクチン
接種費用の一部を助成

■対象

接種日において、町内に住所を有する75歳以上の人（健康保険適用となる脾臓摘出者を除く）

■助成額 3千円（1回のみ）

■接種料金

医療機関ごとに異なります。接種料金から助成額（3千円）を差し引いた額を支払ってください。

■申請および接種方法

・接種前に保健福祉課に申請し、予診票の交付を受けてから指定医療機関で接種してください。

・申請は代理人でも可能です。申請者のはんこを持参してください。

■接種時の注意

・町で発行した予診票、健康保険証などを指定医療機関に提出してください。

【問】保健福祉課健康増進グループ ☎（88）2219



献血
献血をお願いします
あなたの暖かい贈り物

■対象

移動採血車による献血を行います。皆さまの善意のご協力をお待ちしています。

■期日 12月22日（木）

①10時～12時

②13時～15時30分

■場所 階上町役場

■内容 200、400ml献血

【問】保健福祉課健康増進グループ ☎（88）2219

雇用
求職者支援制度がスタートしています

■制度内容

雇用保険（失業給付）を受給できない求職者が、支援訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指すための制度です。

■対象

収入、資産などの一定条件を満たす人に、訓練期間中「職業訓練受講給付金」を支給します。

【問】ハローワーク八戸

☎（22）8609・音声案内42#

給付金
戦後強制抑留者
特別給付金

■対象

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を支給しています。

■対象

旧ソ連邦またはモンゴル国の地域での戦後強制抑留者で、22年6月16日に日本国籍を有する存命の人。（22年6月16日以降に亡くなった人の相続人は請求できませんが、それ以前に亡くなった遺族などは対象外です）

■請求期間

24年3月31日まで（期間満了に請求をしなかった場合は支給されません）

■請求書を持っていない人には書類を送付します。左記基金担当まで問い合わせてください。

■注意

すでに給付金を支給された人は、再度の請求はできません。

【申・問】独立行政法人平和祈念事業特別基金事業部特別給付金認定担当

☎0570（059）204

受付 平日の9時～18時

**ごぞんじですか？
検察審査会**

「交通事故や詐欺など、犯罪の被害に遭って警察や検察庁に訴えたが、検察官が被害者（犯人と思われる人）を起訴（裁判にかけること）してくれない。」

検察審査会は、このような場合に、その不起訴処分（裁判にかけなかったこと）の善しあしを、国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が審査するのが主な仕事とするところです。詳しくは問い合わせてください。

【問】八戸検察審査会事務局（青森地方裁判所八戸支部内）

☎22-3104

**冬の交通安全県民運動が始まります
12月11日～20日**

この時季は、夕暮れ時・夜間における高齢者の事故や、飲酒運転による重大事故の発生が懸念されるほか、積雪・凍結路面でのスリップ事故が多発する傾向にあります。

特に高齢者の交通事故が多発していることから、出かけるときには運転者から発見されやすい明るい色の服装と反射材用品の着用を心がけてください。

**交通安全母の会が
反射材グッズを配布**

町内の高齢者宅約160世帯を訪問し、靴に張る反射シートを配布し交通安全を呼び掛けました。



【問】町民課 戸籍住民グループ ☎88-2119

農業委員
農業委員会委員選挙
人名簿の登録申請を

毎年1月1日現在で「農業委員会委員選挙人名簿」を作成しています。

次の条件に該当する人は、**1月10日(火)までに「農業委員会委員選挙人名簿登録申請書」**を各地区の区長に提出していただき(申請書は区長を通じて配布されます)。提出しない場合、選挙で投票することができません。

■名簿登録条件

平成4年4月1日以前に生まれ、24年1月1日現在階上町に住所を有し、次のいずれかに該当する人。

- ① 10㍏以上の農地で耕作の業務を営む人(農業経営者)。
- ② ①の農業経営者の同居の親族または配偶者で、年間60日以上耕作に従事している人。
- ③ 10㍏以上の農地で耕作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員または株主で、年間おおむね60日以上耕作の業務に従事している人。

■注意

・1反歩だけの耕作面積では10㍏になりません。

・不耕作の農地は耕作面積に含まれません。
【問】農業委員会

☎(88) 2946

農業
農振除外申請(後期分)
の受け付けをします



やむを得ず農用地区域内の農地を農用地以外の用途に利用したい場合は、農用地区域から農振除外を行って農用地区域外にした後で、農地の転用の許可を受ける必要があります。

■申請時の注意

申出理由の整理、代替性の検討などを十分行った上で農振除外申請をしてください。
※必ずしも農振除外できるとは限りませんので、事前に相談してください。

■申請期限

24年1月16日(月)

【申・問】産業振興課産業振興グループ

☎(88) 2116

募集

クリスマス大作戦
サンタがプレゼントを
お届けします

階上町職員組合では、クリスマスに職員がサンタクロースに変身し、希望の時間帯にご家庭にプレゼントをお届けします。

■宅配日時

12月24日(土)
17時～20時

■申込締切

12月16日(金)
※先着50家庭

■お子さんへのプレゼントを添えてお申し込みください。

【申・問】小守(町民課税務グループ内)

☎(88) 2114



年末年始のごみ収集について

12月30日(金)まで 通常どおり
12月31日(土)～1月3日(火) 収集お休み
1月4日(水)～ 通常どおり

【問】町民課 ☎88-2119

新年互礼会を開催します **【問】**

階上町社会福祉協議会 ☎88-3067

お互いの無病息災とご多幸を祈念し、新年を祝いましょう。
一般町民どなたでも参加できます。

日 時 1月4日(水) 13:30
場 所 ハートフルプラザ・はしかみ

■会 費 男性3,000円/女性2,000円

■申込方法 ①所属する団体の発起人(事務局)に申し込んでください。

②一般の人は行政委員(区長)、社会福祉協議会、商工会、農協階上支店、漁協まで会費を添えて申し込んでください。

■申込締切 12月19日(月)

■その他 当日はチャリティ福祉募金にご協力をお願いします。

■発起人(順不同)

階上町農業委員長、階上町教育委員会委員長、階上町民生委員児童委員協議会長、階上町老人クラブ連合会長、階上町連合婦人会長、階上町小中学校長会長、階上町連合PTA会長、八戸地区交通安全協会階上支部長、階上町行政区長会長、八戸農業協同組合代表理事常務、階上漁業協同組合代表理事組合長、階上町商工会長、三八地方森林組合代表理事組合長、階上町社会福祉協議会長、階上町消防団長、階上町体育協会長、階上町文化協会長、階上町食生活改善推進員会長、階上町赤十字奉仕団委員長

消防情報

火事は119番へ
 消防本部 ☎44-2135
 階上分署 ☎88-2105



- ストーブを使用するときは、次のことを守り、火災を防ぎましょう。
- ① 布団・カーテンなどの燃えやすい物のそばで使用しない。
 - ② 洗濯物などを乾かすために、ストーブの上に吊るさない。
 - ③ スプレー缶（エアゾール式）などを近くに置かない。
 - ④ 就寝時は必ず消火する。

ストーブからの

出火に注意！

■高年齢者に住宅用火災警報器を設置
 八戸地域防災協会と八戸消防本部は、住宅火災から高年齢者などの災害時要援護者の犠牲を減らすため、住宅用火災警報器の寄贈設置を行いました。本事業は毎年行っており、今年も管内の八戸市、階上町、おいらせ町



あなたの命を守る

住宅用火災警報器

で実施、階上町には30個寄贈されました。
 11月8日に八戸地域防災協会事業所員が町内の一人暮らしの高年齢者宅などを訪れ、取り付け作業を行いました。また、火気使用器具や電気器具、水回りなどの点検・整備も行いました。

■住宅用火災警報器を設置しましょう
 まだ設置してないご家庭は、早めに設置して、火災から尊い命を守りましょう。
 ※注意 悪質な訪問販売などにご注意ください。



住宅用火災警報器

交番情報

事件は110番へ
 階上交番 ☎88-2022
 田代駐在所 ☎88-2110



冬休み中の少年非行や 犯罪被害を防止しよう

冬休みの間は、ちよつとした気のゆるみから、生活リズムが乱れがちになり、飲酒、夜遊び、万引などの誘惑に巻き込まれる恐れがあります。
■子どもたちを違法・有害情報から守るために
 ・インターネットや携帯電話などの「家庭でのルール作り」をしましょう。
 ・フィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）を

活用しましょう。
 ・「出会い系サイト」は見ない・書き込まない・絶対に会わないをしつかり守らせましょう。
■県内の少年非行の状況
 （23年1月～9月）
 少年非行の数は、昨年比べ減少していますが、全刑法犯（刑罰法令に触れる行為をした者）のうち、少年は約3割を占めています。
 地域で子どもに目を向け、非行防止と犯罪被害に遭わない環境作りをしましょう。

一人で悩まず、相談を！ 少年問題に関する相談はこちらまで

- ◇ヤングテレホン
 ☎0120-58-7867(警察本部少年課)
 土日、祝日、年末年始を除く 8:30 ~ 17:00受付
- ◇ヤングメール 24時間受付
 youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp

●平成23年階上町交通事故発生状況

	10月31日現在	前年同期比増減
発生件数	35	+7
死者	2	+2
傷者数	45	+11
死亡事故ゼロ連続日数		179日

ふうやとこの

浜辺の花

<271>

有谷 升

ヒメスイバ(たで科)

ヨーロッパ原産の帰化植物で多年草。明治初期に渡来し、現在は全国各地の道端や荒地などで普通に見られる。

花期は六〜八月。高さは二十〜三十センチくらいで、細い根茎を横に伸ばして増える。雌雄異株。

和名は「酸い葉」で、シユウ酸を含むため、茎をしゃぶつ



花穂の色合いは見事

ても葉をかじっても酸っぱいことから。また、スイバより小形であることからヒメがつき、ヒメスイバになったという。

方言名には、スカンポ・アカギシギシ・スイスイなど数多くある。ベニシジミの食草でもある。

方言名には、スカンポ・アカギシギシ・スイスイなど数多くある。ベニシジミの食草でもある。

史記

はしかみのかたりべ

◇216◇

正部家 奨／作・佐藤 明／画

飢饉と百姓蜂起(二十七)

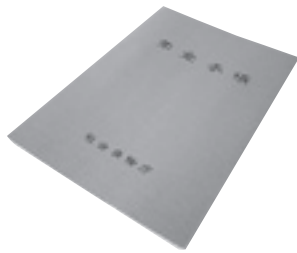
川を渡りて天神堂村、是れより坂路泥深かき、前沢村を過ぐ、左り誤りて十文字なる村に至り三ノ戸を通るよりも鹿角へ近しといへる故に帰らずして行く、下斗米村に至りて休む、助右衛門なるが所にて中食す、粟飯を出だす、福

岡より乾小道十里、猶お山間坂道を行く、門松田、田中を経て小平、是れより上斗米也、下斗米より小道十里にして上斗米村也、坤に来る。人家を出で少シ上りて右の方館の跡有、猶お坂を上りて原山を行く、半ばにして左りへ行く道細ければ迷へるやと思ふて



歸へりて右へ入る事五、六丁、磁石を以て方角を見るに北へ行く、西なるべきに是は違へると思ふて又夕歸へりて左りの道を行く、少シ下りて上ミ野とて家壺軒有り、宿らん事を乞へとも許るさず、上斗米より小道七里の所西へ来る、是れより南の方へ六、七丁下りて川平村家七、八軒、彼方を乞ふに或は病を以テ断り或は亭主他出などいひて許るさず、久太なる人の家に入りて理を尽して乞へとも是れも許さざりけれども歌一首をよみて出だしけるに異議なく宿らしめける、歌爰に載す、山里に宿りを乞ふてよめる 正之 旅人の 往来もたへぬ ことゝ聞く 三ちの奥にも 道あれハこそとぞ、二十三夜待にて里人集り居る、豊都なり、金比羅加護物語なるを講釈す、餅など搗きて備へける、あるじ袴にて奉る奇特の事也、上斗米は是れよりは寅卯ノ間に当りて小道七里也。

年金だより



国民年金保険保険料を納めましょう

■保険料の納め忘れはありませんか

23年度の国民年金保険料額 1 カ月 15,020円

納めた国民年金保険料は「社会保険料控除」として全額控除の対象となり、税金の負担が軽減されます。

まだ納付が済んでいない人は、至急、近くの金融機関またはコンビニエンスストアなどで納付してください。

保険料についての不明な点は、近くの年金事務所にお問い合わせを！

【問い合わせ】

八戸年金事務所
☎43-7369
町民課
戸籍住民グループ
☎88-2119

■保険料の納付が困難なときは

国民年金には、保険料納付が免除または猶予される制度があります。納付が困難だからといってそのままにせず、必ず役場の国民年金窓口で手続きを行ってください。

被災者への支援

— 福島県民に対する県民健康管理調査を実施します —

福島県では、23年3月11日時点で福島県内に居住していた人を対象に、健康調査を実施します。詳しくは、福島県庁ホームページをご覧ください。

福島県ホームページ <http://wwwcms.pref.fukushima.jp/>

【問】福島県立医科大学 コールセンター ☎024-549-5130 (9:00 ~ 17:00)



義援金等の状況 ※11月25日現在

【災害義援金】

1,628 万 5,370 円
(145 件 / 75 団体・70 個人)

【寄 付】

3,004 万 905 円
(49 件 / 37 団体・12 個人)

たくさんの善意
ありがとうございます

編集後記

ゆるキャラ3カ条なるものがあるそう。①郷土愛にあふれ②振る舞いが不安定かつユニーク③愛すべきゆるさがある。着ぐるみデビューしたはしかみキッズはまさにゆるキャラ。今後の広報にもひょっこり登場予定です。お楽しみに！（田中）

戸籍の窓

平成23年11月受付分（敬称略）

【お誕生おめでとう】

(父の名・母の名) 地区

小 松^{ゆう} 夕^か 楓 (勇 人・広 美) 石 鉢
鹿 糠^み 実^お 央 (康 弘・千 秋) 石 鉢
小 坂^れ 滯^お 生 (太 佑・真 央) 耳ヶ吹東
野 口^{りゅう} 龍^が 華 (竜 弥・恵 子) 耳ヶ吹西
土 橋^{たく} 巧^み 実 (政 浩・直 子) 田 代
工 藤^{いち} 一^か 華 (則 之・唯) 赤保内
小 松^り 莉^よ 世 (拓 世・香 織) 蒼 前
柳杭田^れ 麗^な 那 (勉 ・雅 枝) 石 鉢

(希望者の分を掲載しています)

【お悔やみ申し上げます】

松 井 ゆり子 (62・石 鉢)
中 城 ち や (84・晴山沢)
沼 沢 石太郎 (84・鳥屋部)
家 口 富 男 (84・平 内)

人口と世帯数

平成 23 年 12 月 1 日現在

総人口 14,579 人 (± 0)
男 7,319 人 (+ 7)
女 7,260 人 (- 7)
世帯数 5,737 世帯 (+ 6)

12月		
16	金	燃やせるごみ収集日(蒼前西地区)
17	土	
18	日	剣道クラブ(町民体育館 10:00～12:00)
19	月	燃やせないごみ収集日(全地区)
20	火	燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 粗大ごみ収集日(東部地区) 行政・人権・心配ごと相談(ハートフルプラザ 10:00～15:00) 教育相談(ハートフルプラザ小会議室 13:00～16:00) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30～19:30)
21	水	空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 新聞紙・段ボール収集日(全地区) 2学期終業式(大蛇小) 3歳児健康診査(H20.4.1～20.6.30生まれ、ハートフルプラザ12:15受付)
22	木	燃やせるごみ収集日(東部地区) 2学期終業式(大蛇小以外)
23	金	天皇誕生日 燃やせるごみ収集(蒼前西地区)は 休み
24	土	
25	日	剣道クラブ(中央体育館 10:00～12:00)
26	月	燃やせないごみ収集日(全地区) 町県民税第4期納期限 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料第5期納期限
27	火	燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30～19:30)
28	水	空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 雑誌・チラシ・古布・紙箱・包装紙・紙袋収集日(全地区)
29	木	燃やせるごみ収集日(東部地区)
30	金	燃やせるごみ収集日(蒼前西地区)
31	土	

1月		
1	日	元旦
2	月	振替休日
3	火	
4	水	燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 新聞紙・段ボール収集日(全地区) 新年互礼会(ハートフルプラザ 13:30)
5	木	燃やせるごみ収集日(東部地区)
6	金	燃やせるごみ収集日(蒼前西地区)
7	土	
8	日	出初め式(役場裏駐車場 10:00) 成人式(ハートフルプラザ 13:30)
9	月	成人の日 燃やせないごみ収集(全地区)は 休み
10	火	燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 民俗資料収集館開放日(9:00～16:00) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30～19:30)
11	水	空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 雑誌・チラシ・古布・紙箱・包装紙・紙袋収集日(全地区)
12	木	燃やせるごみ収集日(東部地区)
13	金	燃やせるごみ収集日(蒼前西地区)
14	土	
15	日	剣道クラブ(町民体育館 10:00～12:00)

カレンダーの内容は町ホームページにも掲載しています。(お知らせ行事予定)

各課直通電話をご利用ください

各課へのお問い合わせは直通電話のご利用をお願いします。

課名・グループ名等		直通電話番号
1階	町民課	税務 賦課 88-2129
		グループ 収納 88-2114
		戸籍住民グループ 88-2119
	保健福祉課	健康増進グループ 88-2219・2162
		福祉グループ 88-2115・2641
	出納室 88-2049	
農業委員会 88-2946		
2階	総務課	総務グループ 88-2112
		企画財政グループ 88-2113
	産業振興課	産業振興グループ 88-2116
		建設課
	教育課	土木建設グループ 88-2118
3階	議会事務局	学校教育グループ 88-2495
		社会教育グループ 88-2698・2764
議会事務局 88-2369		

土・日・祝日および17:00以降のご連絡は(代)88-2111へお願いします。

防災無線電話応答サービス ☎80-1220

ごみ収集日の地区区分	
中央・西部地区	石鉢、蒼前、野場中、角柄折、金山沢、田代晴山沢、平内、鳥屋部、赤保内、耳ヶ吠西
東部地区	耳ヶ吠東、荒谷、大蛇、追越、榊、駅前道仏、小舟渡
<p>○ごみは、必ず透明な袋に入れて出してください。</p> <p>○ごみは、収集日に、自分の住んでいる地域のごみ収集所へ、朝8時までに出してください。</p> <p>○ごみの量や交通事情などにより同じ時間に収集車が来るとは限りません。</p>	

小舟渡小が最優秀賞

第1回階上町花壇コンクール

町では、潤いと花のある住みよいまちづくりを促進するため、今年度より花壇コンクールを実施し、小舟渡小学校が最優秀賞を受賞しました。

コンクールは、花いっぱい運動の一環として配布している花苗を元に道路沿いや学校などの花壇の育成管理を行っている団体を対象に行われ、今年は学校など6団体が応募。7月中旬に審査を行い、最優秀賞に小舟渡小学校、優秀賞に道仏中学校、優良賞に道仏小学校が選ばれました。

10月29日の町民文化祭では、表彰式と入賞花壇の写真が展示されました。小舟渡小学校の江渡英子先生は「子どもたちに花いっぱいの環境をという思いで整備した。これからも変わらず花を育てていきたい」と喜びを語っていました。



最優秀賞 小舟渡小学校



優秀賞 道仏中学校



優良賞 道仏小学校



左から小舟渡小学校の江渡英子養護教諭、道仏中学校の上平さおりさん、道仏小学校の中山歩紀君

はしかみキッズ 着ぐるみデビュー！



町民文化祭で着ぐるみデビューしたはしかみキッズ。左から「あぶらめくん」「つつじ姫」「かぜ丸」

はしかみキッズ：町制施行20周年を記念し、平成12年12月に制定。町特産のウニ（かぜ）・つつじ・アブラメをモチーフにしている

はしかみキッズ着ぐるみを町PRイベントなどに貸し出します。

詳しくは、総務課企画財政グループ（☎88-2113）にお問い合わせください。

「はしかみキッズ」が“3次元化”！

町のシンボルキャラクターとして階上町のイメージアップを図ってきた「はしかみキッズ」がこのほど、着ぐるみとなって登場しました。

10月29日～30日に開かれた町民文化祭の開会セレモニーでその姿を披露。会場では子どもたちに囲まれ、記念写真をせがまれるなど、人気者となりました。

着ぐるみは東北新幹線全線開業効果活用支援事業を利用し制作。昨年、町制施行30周年を記念し作られた着せ替えバージョンとともに、町をPRするさまざまなイベントなどで活躍します。